

第2次牛久市地域公共交通計画素案の概要

1. 目的

公共交通機関の連携・役割分担の下、利便性が高く、持続可能な地域の旅客運送サービスの提供の確保を目的とする第2次牛久市地域公共交通計画を策定します。

2. 計画の位置付け

- ①法律に基づく地域公共交通計画
- ②地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿を明らかにするマスターplan
- ③多様な主体が連携して取り組むための共有ビジョン

3. 計画区域

本市全域

4. 計画期間

令和8年度から令和11年度までの4年間

5. 公共交通の現状

各種データ整理、上位計画の整理、交通事業者ヒアリング、市民アンケート調査、奥野地区アンケート調査、市内バス路線アンケート調査、奥野地区グループインタビュー調査、これまでの取組の評価を踏まえ、公共交通の現状をまとめました。

<公共交通の現状>

- (1) 路線バス・かっぱ号の利用ニーズ
- (2) 運転できず移動手段に困っている人がいる
- (3) 市外への移動需要
- (4) 公共交通の利用環境
- (5) 公共交通の情報提供

6. 公共交通の課題

公共交通の現状を基に、公共交通の課題を整理しました。

<公共交通の課題>

- (1) 市内での移動手段の維持・確保
- (2) 中学生・高校生や高齢者等の運転できない人の移動手段の確保
- (3) 市外への移動手段の維持・確保
- (4) 公共交通の利用環境の改善
- (5) 公共交通に対する市民の意識の向上

7. 基本的な方針

牛久市における公共交通の役割を「市民等の移動を支える社会生活基盤」、公共交通全体のあるべき姿を「地域の協力・連携で維持・向上を図る公共交通」としました。

公共交通全体のあるべき姿を実現するための基本的な方針を5つ設定しました。

<基本的な方針>

- (1) まちの拠点と地域生活圏の公共交通ネットワークの整備・改善
- (2) 交通弱者等の移動手段の確保
- (3) 広域的に移動しやすい公共交通ネットワークの維持
- (4) 公共交通の利便性向上
- (5) 地域全体で公共交通を支える機運の醸成

8. 公共交通施策

基本的な方針を実現するための12の公共交通施策を設定しました。うち以下①、②を重点的に取り組む施策とします。

<公共交通施策>

- ①市内バス網の再編を含めた路線バス・かっぱ号の運行 【重点的に取り組む施策】
 - ・バス事業者、行政、地域が一体となって公共交通について考え、路線存続に関する危機感の共通認識を持ち、路線バスとかっぱ号を運行
 - ・路線バスとかっぱ号の重複の解消を図る市内バス網の再編
 - ・交通事業者、市民、企業、学校等と市が協力して利用促進策を実施
- ②タクシー関連施策の見直し 【重点的に取り組む施策】
 - ・増車等によるうしタクの予約成約率を上げる工夫
 - ・公共ライドシェアの利用登録方法等の見直し
 - ・タクシーを活用した公共交通施策の検討
 - ・近隣市町村との広域連携
- ③奥野地区の移動手段確保
 - ・奥野地区のニーズに合った移動手段確保施策を検討
- ④中学生・高校生の移動手段確保
 - ・中学生・高校生の通学における移動手段の確保施策を検討
 - ・地域クラブ活動における移動手段の確保施策を検討
- ⑤関連機関との連携（福祉有償運送、ボランティア移送サービスなど）
 - ・実施団体と情報共有し連携して障がい者や要介護者等の移動手段を確保・維持
 - ・3つの地区社協のボランティア移送サービスの事業の維持
- ⑥市外に接続する公共交通網の維持
 - ・輸送力の増強や利便性の向上を交通事業者に要望
 - ・交通事業者等と市が協力して利用促進策を実施
- ⑦交通機関間の連携
 - ・鉄道の時刻改正の際に乗り継ぎしやすいかっぱ号通勤ライナーのダイヤを検討し調整

- ・複数交通事業者の連携や、交通事業者と観光施設やイベント主催者との連携を図り、Ma
a Sの取組の実施を検討

⑧交通結節点の整備

- ・公共施設内等を待合所として活用、広告付きバス停の設置、学校と連携したバス停の清掃等により、バス待ち環境の改善
- ・交通事業者と連携し、バス停周辺に駐輪場を設置し、サイクルアンドライドに対応

⑨公共交通機関のバリアフリー化

- ・ひたち野うしく駅東口のバスロータリーのバリアフリー化
- ・ノンステップバスやユニバーサルデザインタクシーの車両導入を検討・推進

⑩進展する技術の活用

- ・路線バスの位置情報・経路検索システム、かっぱ号のバスロケーションシステムの提供を継続
- ・うしタクへのキャッシュレス決済の導入（交通系ICカード、QRコードや非接触型クレジット決済等）を検討
- ・公共ライドシェアでのAIオーデマンドシステムの使用の継続
- ・パーソナルモビリティについて、イベント時に体験乗車を実施、周知
- ・自動運転バスや燃料電池バス等、安全性や利便性を高める技術、環境にやさしい技術等の導入を本市の実情に合わせて検討

⑪運転士等の採用活動の協力実施

- ・市と交通事業者が協力して運転士等の採用活動に取り組む（交通事業者が実施する採用説明会や体験乗車会に市が会場提供の協力、市のイベントで採用パンフレットを配布）

⑫公共交通の情報発信・利用促進

- ・牛久市公共交通マップの作成・配布を継続して実施
- ・公共交通に関する情報の提供を随時実施
- ・イベントでの公共交通利用促進キャンペーンを実施
- ・かっぱ号のお試し乗車券の配布、行政情報出前講座、うしタクや公共ライドシェアの出張登録会等といった公共交通の意識の醸成に効果的な施策を随時実施